



同時資料提供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

お知らせ



山口県の

「道の駅」の利用状況が分かった！

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1040箇所に広がり、地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献しています。

そこで、中国地方整備局では、中国地方の「道の駅」がどのような利用をされているのかを、ビッグデータを用いて分析しましたので、お知らせ致します。

この分析結果により、それぞれの「道の駅」が今後取り組むべき方向性等の検討がされ、より一層のサービス向上が図られることが期待されます。

- 主な特長**
- 1 山口県の「道の駅」利用者は、県内利用が平均約7割と多い。
 - 2 県西部は福岡県から、県東部は広島県、島根県からの利用が多い。
 - 3 著名な観光地の萩や角島周辺は、九州地方や中部地方以东といった、遠方からの利用の多い「道の駅」も見られる。
 - 4 日帰り利用は、平均滞在時間の長い「道の駅」が多い。

代表例示駅 萩しーまーと
きららあじす

※ 内容についてのお問い合わせは、下記分析担当にお願いします。

問い合わせ先

○中国地方整備局 082-221-9231(代表):(平日・昼間)
(分析担当) 道路部 道路計画課長 岡本 雅之(おかもと まさゆき) (内線4211)

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所
副所長(改築) 平山和弘 (内線205)
(広報担当) 計画課長 藤原功 (内線261)
電話番号 (0835)22-1785

山口河川国道事務所ホームページアドレス

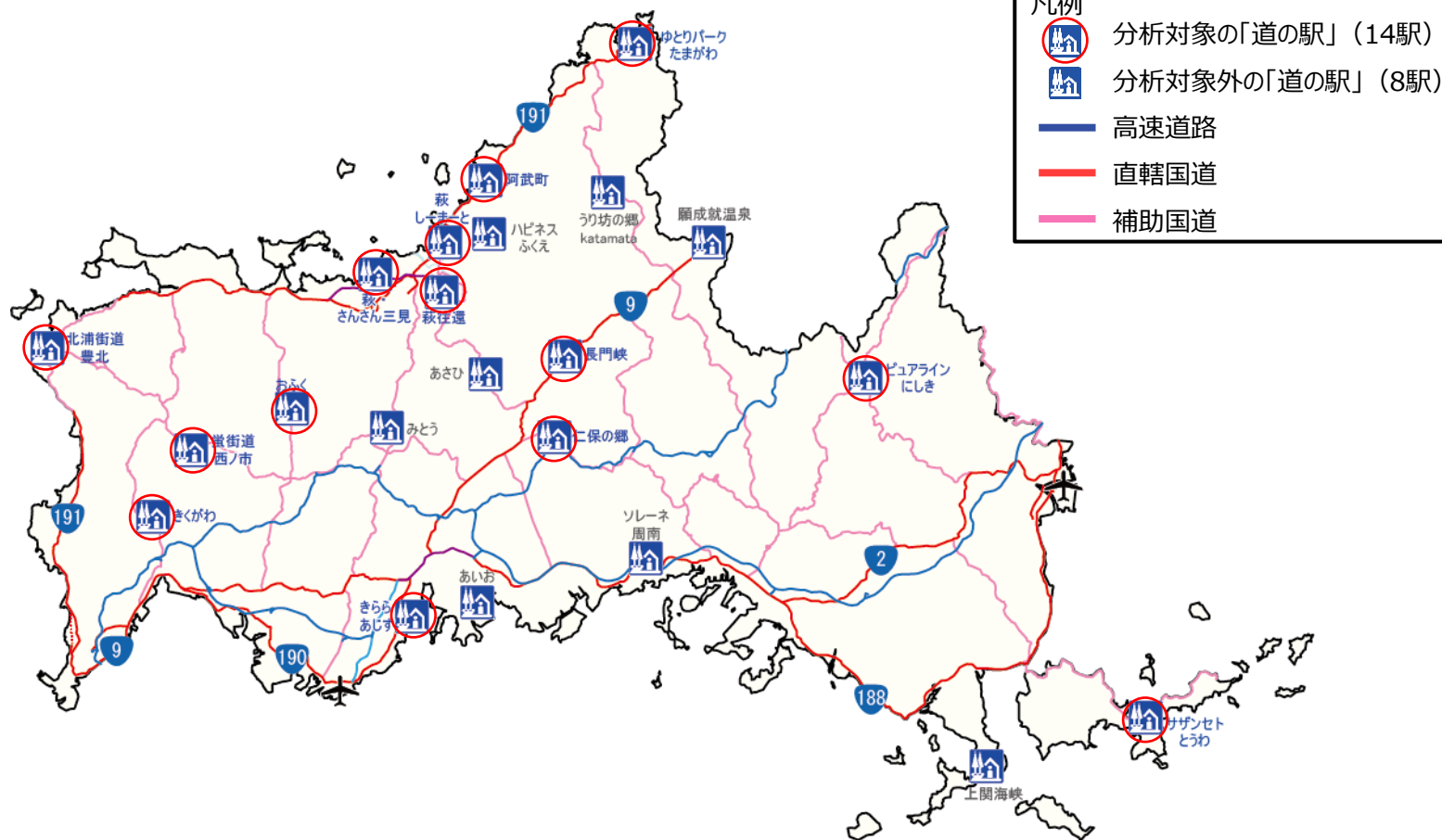
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

「道の駅」の利用状況に関する分析について

- 山口県で開業している「道の駅」は22駅※¹です。 ※¹：平成26年末時点
- 「混雑統計®」※²で統計的処理に必要な利用者データ数が確保できる14駅(山口県全体の6割)について、利用状況に関する分析を行いました。

※² NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスの「地図アプリ」「ご当地ガイド」において、オートGPS機能を利用されている方より、利用許諾を得た上で送信される位置情報をNTTドコモからの委託によりゼンリンデータコム社が個人が特定されないよう集計・処理したうえで提供するデータ。

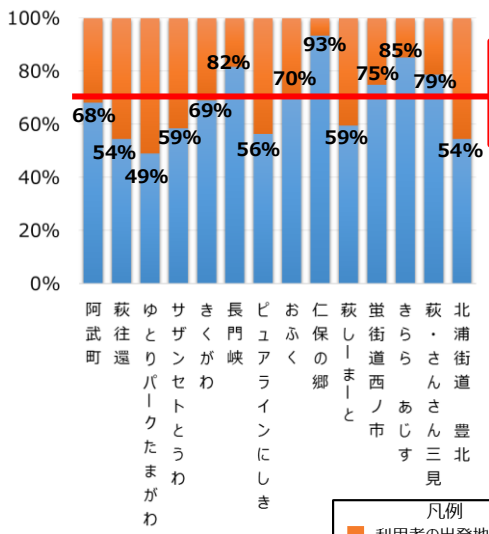
山口県の道の駅



山口県の「道の駅」は県内からの利用者が多い傾向

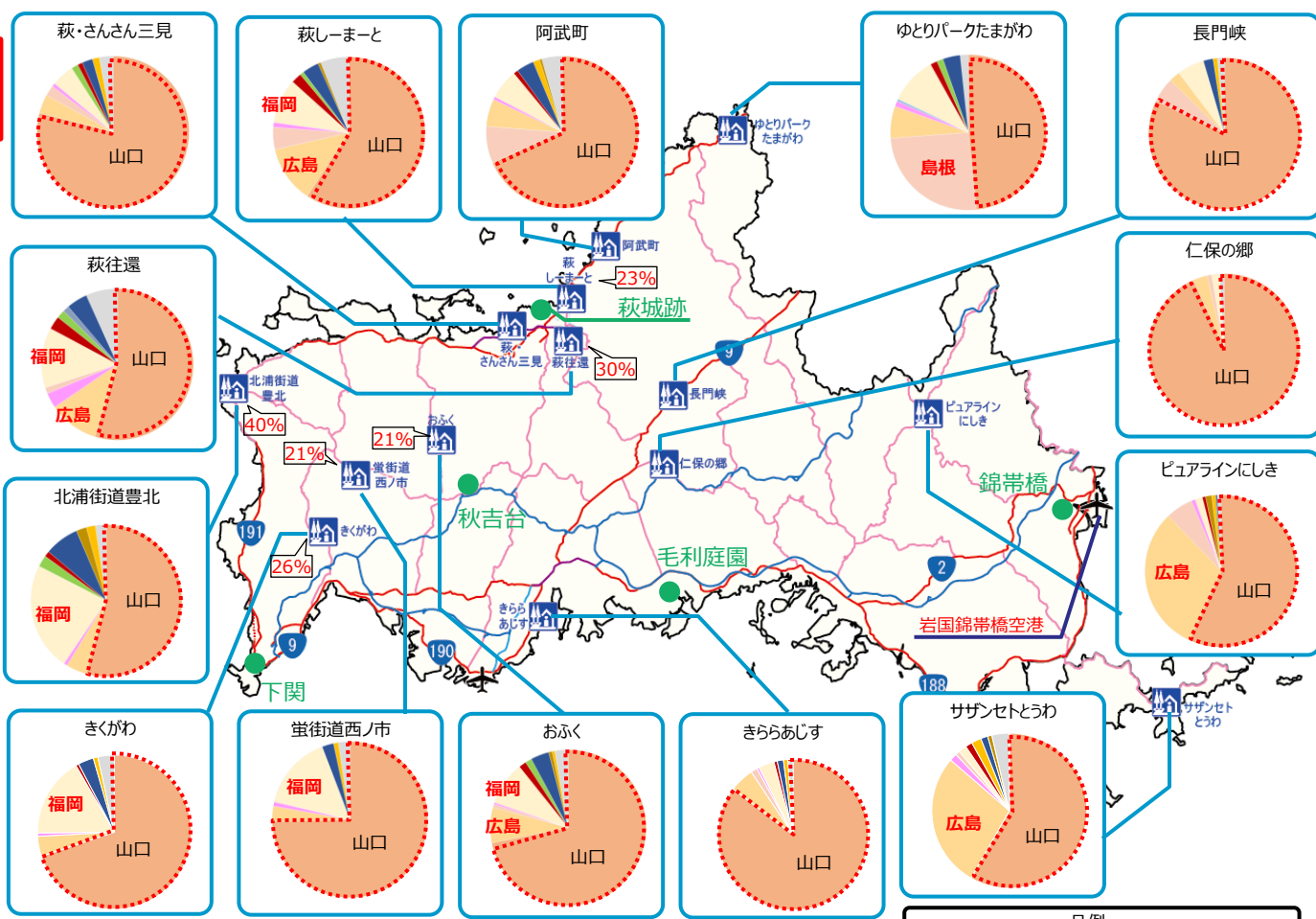
- 山口県の「道の駅」は、県内からの利用者が平均70%と県内からの利用者が多い傾向が見られます。
- 県西部は福岡県、県東部は広島県や島根県からの利用者が多い傾向が見られます。
- 有名観光地である萩市や角島周辺の「道の駅」には、九州地方や中部地方以东といった遠方からの利用者が多い傾向が見られます。

道の駅利用者の出発地（県内外の別）



利用者の出発地が県内の割合
山口県平均
70%

道の駅利用者の出発地



「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.
注1: 「混雑統計®」の推計による。分析期間は道の駅により異なる。
注2: 本資料による「出発地」は、「混雑統計®」において位置情報から推定した場所。

凡例

- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 兵庫県
- 京都府
- 大阪府
- その他近畿地方
- 四国地方
- 福岡県
- その他九州・沖縄
- 中部地方以东

※吹出しは、中国地方外からの利用者数の割合 (20%以上)

「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.
注1: 「混雑統計®」の推計による。分析期間は道の駅により異なる。
注2: 本資料による「出発地」は、「混雑統計®」において位置情報から推定した場所。

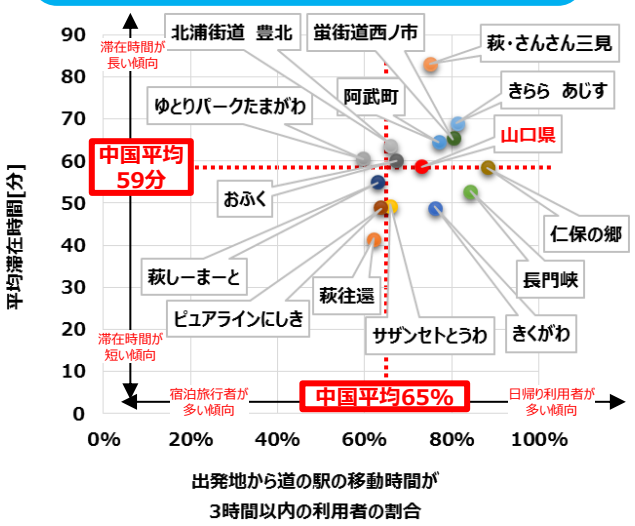
凡例

- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 兵庫県
- 京都府
- 大阪府
- その他近畿地方
- 四国地方
- 福岡県
- その他九州・沖縄
- 中部地方以东

特色のある「道の駅」は利用者の滞在時間が長い傾向

- 山口県の「道の駅」の利用者の平均滞在時間は約59分です。 ※分析対象14駅の平均
- 山口県の「道の駅」利用者は、日帰り旅行の目安「片道3時間」以内の割合が多く、滞在時間が長くなる傾向が見られます。
- 利用者の滞在時間の長い「道の駅」は温泉施設の設置や季節のイベントの開催など、特色ある独自の取組を行っています。

「道の駅」の平均滞在時間



「混雑統計」©ZENRIN DataCom CO., LTD.
 注1：「混雑統計」の推計による。分析期間は道の駅により異なる。
 注2：本資料による「出発地」は、「混雑統計」において位置情報から推定した場所。

滞在時間が長い駅の「道の駅」の特色ある取組

秋の収穫祭他

写真：萩さんさん三見

温泉施設

写真：阿武町

温泉施設

写真：ゆとりパークたまがわ

温泉施設

写真：おふく

イベントの開催

写真：北浦街道豊北Facebook

温泉施設

写真：蜷街道西ノ市

節分イベント他

写真：きららあじす

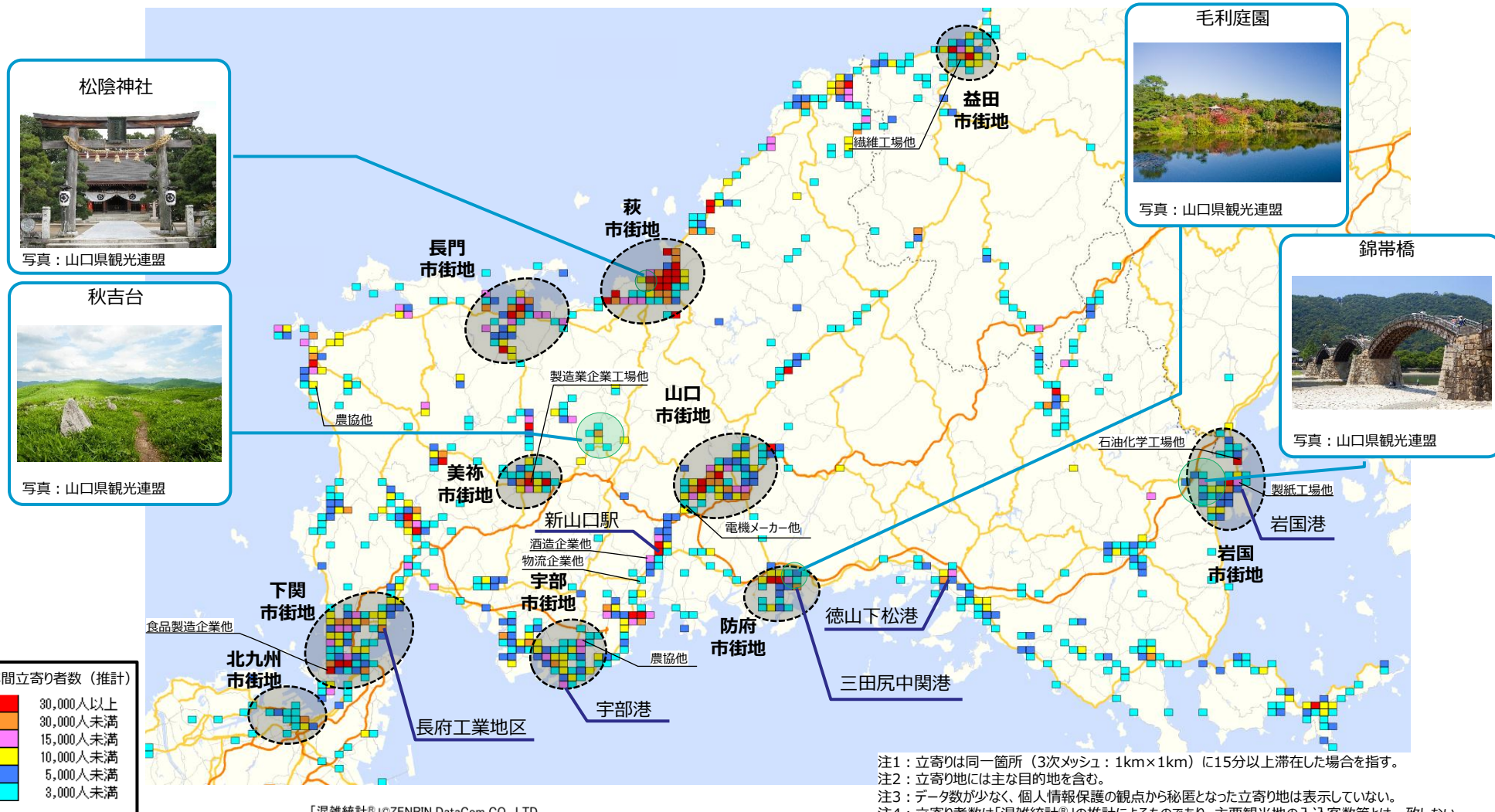
- 「混雑統計」©ZENRIN DataCom CO., LTD.
- 凡例
- 分析対象の「道の駅」(14駅)
 - 高速道路
 - 直轄国道
 - 補助国道

注1：「混雑統計」の推計による。分析期間は道の駅により異なる。
 注2：本資料による「出発地」は、「混雑統計」において位置情報から推定した場所。
 注3：写真が表示されている「道の駅」は、平均滞在時間が山口県の平均値(59分)よりも長い「道の駅」。

業務の移動中にも「道の駅」が利用されています。

- 山口県の「道の駅」の利用者は、萩市街や錦帯橋等の有名観光地に立寄っています。また、山口県外への立ち寄りも多く見られます。
- 一方で、市街地の鉄道駅周辺や商業集積地に加え、臨海部の工業地域等に立寄る利用者も見られ、ビジネスによる移動においても「道の駅」が利用される傾向が見られます。

利用者の立寄り地



萩しーまーと

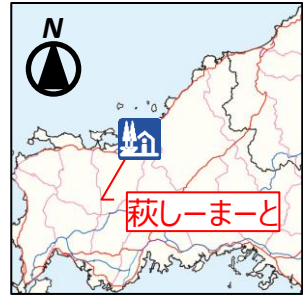
山口県萩市

主要地方道萩川上線

平成13年

約140万人

- 隣接の漁港で水揚げされた海産物が直接店頭で並ぶ新鮮さを特長に、「市民の台所」として魚食普及・食育の拠点。
- 年間販売額約10億円と売り場面積1㎡当たりの売上高は、一般的なスーパーの約2倍。約100名の雇用創出。
- 値も付いていなかった魚を加工品として商品化する「萩のもったいないプロジェクト」を推進。漁業者の所得向上に寄与。

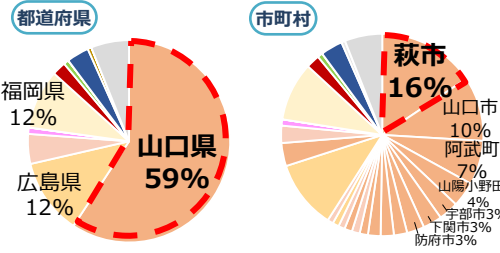


利用者分析による特色

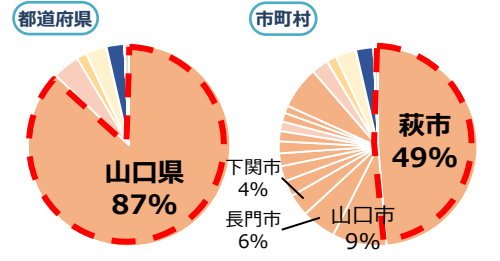
- 出発地は、山口県が約6割、広島県、福岡県がそれぞれ約1割。市町村別も萩市からが約2割と、地元利用が多い。
- 主な目的地は、日帰り、宿泊いずれも山口県内、特に萩市内及び山口市、長門市、下関市が多い。
- 日帰り、宿泊は概ね半々で、当日利用者の平均滞在時間は、約55分となっている。
- 日帰り旅行の利用者は、山口県内からが8割を占め、宿泊旅行の利用者も約半数が山口県内からとなっているが、広島県、福岡県がいずれも約1割、中部以東、近畿、九州・沖縄からの合計が約2割と隣接県と並び遠方も多い。
- 立ち寄り地は、萩市内の主要観光地に集中しているが、山口県西部地域の主要な観光地、温泉も多く、周遊観光見られる。また、大小の商業施設の利用もあり、買い物周遊も見られる。

<地方創生拠点としての機能>
 地域センター型

「萩しーまーと」利用者の出発地



「萩しーまーと」利用者の主な目的地



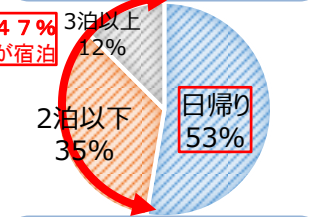
凡例

鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
兵庫県	京都府	大阪府	その他近畿地方	
四国地方	福岡県	その他九州・沖縄	中部地方以東	

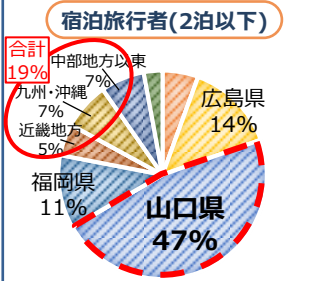


注1: 立ち寄りは一階層(3次メッシュ:1kmx1km)に15分以上滞在した機会を指す。
 注2: 立ち寄り地には主な目的地を含む。
 注3: データ数が少なく、個人情報保護の観点から秘匿となった立ち寄り地は表示していない。
 注4: 立ち寄り数値は「混雑統計」の集計によるものであり、主要観光地の入込客数等とは一致しない。

利用者の旅行形態



旅行形態別の出発地割合



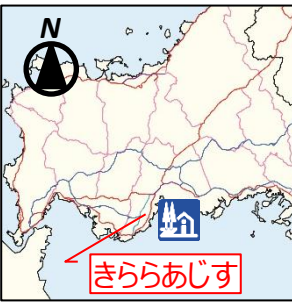
日帰り旅行者



凡例: 年間立ち寄り人数

15,000人以上
15,000人未満
10,000人未満
5,000人未満
3,000人未満
1,000人未満

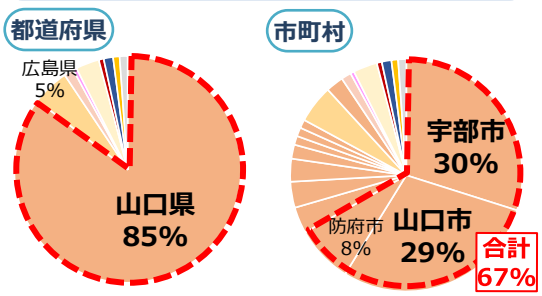
- ▶ 地元特産のかぼちゃ「くりまさる」をPR。地元特産品を使用したオリジナル製品の開発により地元特産品の販売促進に取り組んでいる。
- ▶ 地元「阿知須ひなもん祭り」のひなもん飾りを展示会や手作り教室を開催し地域交流を行っている。
- ▶ 道の駅に飛来する“旅する蝶「アサギマダラ」”について、道の駅内への掲示やHP掲載により情報発信。



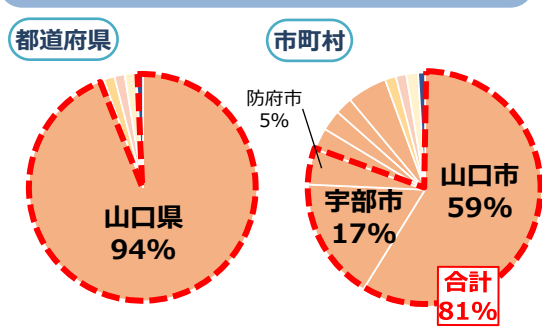
利用者分析による特色

- 出発地は、山口県が約9割。山口県からは宇部市、山口市からの利用がそれぞれ約3割、防府市からの利用が約1割であり、「きららあじす」周辺からの利用が約7割を占める。
- 主な目的地は、山口県が9割以上。特に山口市、宇部市、防府市への利用がそれぞれ約6割、約2割、約1割であり、「きららあじす」周辺への利用が約8割を占める。
- 立寄り地は、国道9号、国道190号、国道490号沿線地域への立寄りが中心。鉄道駅周辺や大規模商業施設等への立ち寄りが多く、業務や日常生活の中での利用が見られ、山口市から宇部市間の国道9号、国道190号のネットワークによる利用が推察される。
- 「きららあじす」滞在が6時間以下の利用者の平均滞在時間は約70分。滞在1時間以内の利用者が約6割と多い。
- 出発地からの移動時間は2時間以内の利用者が半数以上と多く、目的地までの移動時間は2時間以内の利用者が約7割と多い。

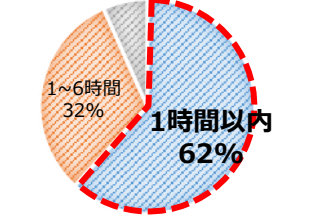
「きららあじす」利用者の出発地



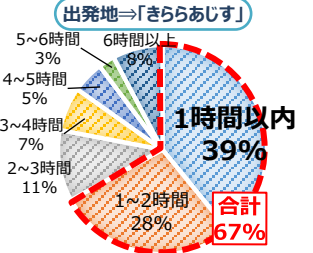
「きららあじす」利用者の主な目的地



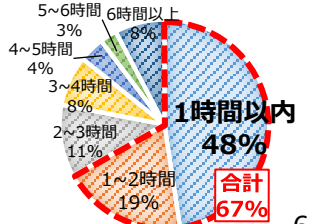
利用者の滞在時間



利用者の移動時間



「きららあじす」⇒主な目的地



凡例：年間立寄り人数
 15,000人以上 (Red)
 15,000人未満 (Orange)
 10,000人未満 (Yellow)
 5,000人未満 (Light Green)
 3,000人未満 (Green)
 1,000人未満 (Blue)

注1：立寄りは同一箇所（3次メッシュ：1km×1km）に15分以上滞在した場合を指す。
 注2：立寄り地には主な目的地を含む。
 注3：データが少ない、個人情報保護の観点から数量となった立寄り地は表示していない。
 注4：立寄り客数は「混雑統計」の集計によるものであり、主要観光地の入込客数等とは一致しない。

「混雑統計」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

凡例

鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
兵庫県	京都府	大阪府	その他近畿地方	
四国地方	福岡県	その他九州・沖縄	中部地方以東	